# 【連載・県立高校の今】　令和６年度　第１回
# 木更津東高校（「魅力ある県立学校づくり大賞」最優秀賞）
# 理数科設置校、松戸向陽高校、佐倉東高校（「学校提案型魅力発信事業」実施校）

県教育庁企画管理部教育政策課高校改革推進室

## １　はじめに

昨年度に引き続き、県立高校の今の姿を伝える「高校NOW！」の連載を継続させていただくことになった。

今回は、令和５年度の振り返りとして、「魅力ある県立学校づくり大賞」最優秀賞に輝いた木更津東高校と、「学校提案型魅力発信事業」を実施した理数科設置校、松戸向陽高校、佐倉東高校の取組を紹介したい。

## ２　魅力ある県立学校づくり大賞

これは、県教育委員会が、学校自らが学校や地域の実情に応じ企画・提案する取組を顕彰するものである。令和５年度は13校より応募があり、木更津東高校は、令和５年度の最優秀賞に輝いた。

### ⑴木更津東高校の取組

木更津東高校は、全日制の課程に普通科と家政科、定時制の課程夜間部に普通科（普通コース、商業コース）を持つ学校で令和６年度にはそれぞれ114年目、74年目を迎える。

継続してきた木更津市との連携に、「持続可能な未来の実現に向けて生産から販売までを体験」するという新たな着眼点を盛り込み、２つのプロジェクトを展開した。

①「子どもが主役のファッションショー」
～未来の子どもたちのために種をまく～

市が開催するファッションショーに家政科の生徒が中心となり、未来への期待をファッションで表現した。

公募で集まった案をもとに、モデルとのヒアリングを通じデザインを固め、縫製し、当日のヘアメイクまで含めたコーディネートを考えた。当日は2,000人近く来場者があり、ネット配信も好評であった。

木更津コレクション2022

②地域企業との連携商品開発

木更津市の地域づくりの一環として、地域企業と連携共同して「生産・商品開発・販売」までを一貫して行い、商品としてクッキーとニョッキを開発した。

約１年前から連携先企業の理念を学び、生徒自らの手でさつまいもを植付け、成長観察等を経て収穫まで行った。

その後、家政科生徒の議論を経て、候補を選定し、商品を販売した。

１か月の販売期間を通じて予定していた1,000個を売り上げることができた。

開発に至るまでの経緯や、商品の写真は木更津市の公式HPにて公開中である。

開発したクッキー

木更津市HP

## 3　学校提案型魅力発信事業

中学生が自らの興味関心にあった高校を選ぶためには、高校が各学科の教育内容などの魅力や特徴を中学生に向けて効果的に情報発信することが重要である。

そこで、高校と地域のさまざまな主体が連携・協働して高校の魅力を発信する「学校提案型魅力発信事業」を、令和５年度に初めて実施した。その中から４つの取組を紹介する。

| 事業名 | 実施校 |
|---|---|
| 理数科って何だ？理数科で学ぼう！<br>～理数科の魅力発信～ | 理数科設置校 |
| 成田地区県立高校による中学生のキャリアアップゼミ | 成田西陵、成田国際、成田北、下総、富里 |
| 企業と連携したものづくりの魅力発信 | 千葉工業 |
| 高校生によるケアリング・コミュニティプロジェクト | 松戸向陽 |
| 成田空港及び近隣機関と連携した学校魅力発信事業 | 下総 |
| 地産地消のスイーツづくり | 佐倉東 |
| 高校生が教える友禅染体験授業 | 佐倉東 |
| 「観光ビジネス」による地域連携<br>～高校生と巡る旅～ | 東金商業 |

令和５年度実施事業一覧

### ⑴理数科設置校の取組

県内公立高校理数科設置校（船橋、柏、佐倉、佐原、匝瑳、成東、長生、木更津、市立千葉、市立銚子）は、千葉工業大学と連携して、８月に理数科進学フェアを開催した。「しじみ釣り」や「試験管の中に雪を降らせてみよう」など21の実験コーナーを設置し、多くの小中学生が体験した。

しじみ釣りの様子

### ⑵松戸向陽高校（福祉教養科）の取組

介護福祉士の資格取得を目指す福祉教養科では、フィールドワークにより地域の課題やニーズを見出し、福祉の知識を生かしたコミュニティづくりを実施した。その一環として、高校生と地域の高齢者とで「駄菓子ばぁひまわり」を協働運営した。

「駄菓子ばぁ　ひまわり」開店！

### ⑶佐倉東高校（調理国際科）の取組

卒業時に調理師免許が取得できる調理国際科は、近隣の中学校の生徒と一緒に、オリジナル焼き菓子「さくらふるふる（ブール・ド・ネージュ）」を製作した。

体験授業の様子（左）

完成した
「ブール・ド・ネージュ」（右）

### ⑷佐倉東高校（服飾デザイン科）の取組

県内公立高校で唯一の服飾デザイン科は、市内在住の作家から学んだ友禅染の手法や技術を生かして、近隣の小学校の児童と一緒に、友禅染の体験授業を行った。

体験授業の様子（左）

完成した
トートバッグ（右）